

「人文知コミュニケーション」のグループプレゼンテーション

・各グループ内のメンバーとよく相談し、最終的な「テーマ」と「概要(400字以内)」を記載し、11月25日(月)正午まで、提出してください。提出先：白岩善博 shiraiwa.yoshihir.ft@u.tsukuba.ac.jp

・各講師の先生方にアドバイスをほしい場合は、まず、白岩宛にメールを送信してください。皆様の指定する講師の先生方に転送しますので、その後は、直接のやり取りをしていただきます。

・11月30日のプレゼンにおけるPPTファイルなどは、当日、USBで持参してください。(自分のPCの使用も可能ですが、コネクタの準備を合わせてお願いします)

・(注意1) このグループプレゼンテーションは、異分野間交流や他のグループ構成員とのコミュニケーションによって議論を深め、一つのテーマを基に共同でプレゼンを行うことを目的としています。したがって、グループ内の相互打ち合わせが不十分で、代表者が一人でプレゼン資料を作成する例が2018年度には一部ありましたが、そのようなケースでは、低い評価となりますので注意してください。

・(注意2) プレゼンを複数人数で行う例があることは認めますが、単なる個人の考えのつなぎ合わせ(リレー)になっている場合は、低い評価となりますので注意してください。

・評価は、プレゼンテーションの質の高さに加え、異分野間交流や他のグループ構成員とのコミュニケーションに基づく多様な視点のもとに議論を行い、その結果として、主張が統一的に示されているかどうかについても考慮して行います。

・(注意3) プレゼン資料(ppt)で示す資料は、学術論文など科学的根拠に基づいた資料・データを引用したり参考にするよう注意してください。インターネットに掲載されている情報でも、その科学的根拠・引用文献が明確に確認できるものを使用し、その出典を明示するようにしてください。これは、レポートにおいても同様です。

・(注意4) 学期末の各受講生の成績評価は、グループプレゼンテーションに加え、2回目の授業終了後に提示される各個人単位のレポートの評価を合わせて行います。

グループ	テーマ	概要(400字以内)
A	(仮) 「弔い」 (本番)	
B	(仮) 「弔い」 (旧 B+C) (本番)	
C		
D	(仮) 「弔い」 (旧 D+F) (本番)	
E	(仮) 「弔い」 (本番)	

F

G (仮) 「方言」
(本番)

H (仮) 「都市—分子レベルからスポーツまで」
(本番)

I (仮) 「弔い」、「祈りの力」
(本番)

J (仮) 「移動—コミュニケーション」
(本番)